

一人ひとりができる 環境への取組を考えよう！

問▶環境都市推進課(☎71)2280)

現在、地球上では地球温暖化やプラスチックごみによる海洋汚染、食品ロス等様々な環境問題が起きています。安城市職員と一緒に、一人ひとりが身近でできる取組を考え、行動に移していきましょう。

※各職員の取組みは、右記のSDGsの目標に関連しています。



柿田公園管理事務所内にあるエコきちで、家族と環境について学びます。



地元の旬の食材を購入し、皮や葉まで食べられるよう、工夫して調理します。



通勤には、健康にも地球にも優しい自転車を利用します。



家族で過ごすときは一部屋に集まり、エネルギーの使用を減らします。



子どもと一緒に季節の生き物を観察し、生物多様性への関心を高めます。



買い物前は冷蔵庫の中を確認し、食品ロスを防ぎます。



不在時の再配達による自動車からの排気ガスを減らします。



家電製品の買い替え時には、環境に優しい省エネ型を選びます。



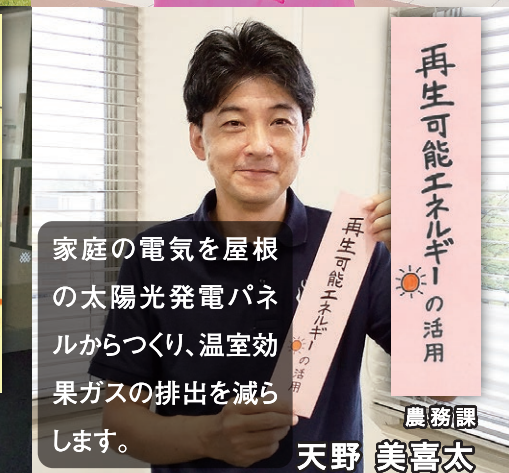
しっかりと水切りすると、量が減って臭いも抑えられます。



地域の清掃活動等に参加し、まちの美化に取り組みます。



ペットボトルの飲み物は購入せず、プラスチックの削減にチャレンジします。



家庭の電気を屋根の太陽光発電パネルからつくり、温室効果ガスの排出を減らします。

環境について考え、行動しましょう！



環境都市推進課職員

地球温暖化と気候変動問題

環境問題の中でも、特に温室効果ガス排出量の増加が原因とされる地球温暖化と、それに伴う気候変動の影響は、私たちの暮らしの様々な場面で見られています。短時間強雨、台風の大規模化等による自然災害、猛暑日が増えたことによる熱中症搬送者の増加といった健康被害等様々な影響があります。

環境省が公開する「2100年未来の天気予報」によると、このまま有効な対策を行わず、地球温暖化が進行した場合、将来、全国各地の夏の最高気温は、40℃を大きく超えると予測されており、影響の深刻化が懸念されています。

話題となっている環境豆知識 カーボンニュートラルって何？

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスのうち、主に二酸化炭素の排出量を「全体としてゼロにする」ことです。「全体としてゼロにする」とは、二酸化炭素の排出量と、森林等で吸収される二酸化炭素の量が同じになり、大気中にある二酸化炭素の量が、これ以上増加しないことを指します。

2050年までにカーボンニュートラルを実現することが、日本全体の目標となっています。

